

香川高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	221002		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書:精選現代文B 東京書籍 ISBN 問題集:改訂版現代文B 準拠ワーク 東京書籍 / 教科書:精選古典B 東京書籍 ISBN / 漢字:級別漢字学習4級~2級 東京法令出版 赤羽靖他 ISBN978-4-8090-7508表現 / 図説:新総合図説国語(新訂版) 東京書籍 池内輝他 ISBN978-4-487-36125-0 / 辞書:電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典)				
担当教員	門脇 大				
到達目標					
1. 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。また、文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。 2. 古文について、基本古語・古典文法を修得し、現代の文化とのつながりを説明できる。 3. 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1:文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。また、論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を正確に捉え、表現に即してより深く読み味わうことができる。また、論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨を適切に日本語でまとめることができる。	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。また、論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができない。また、論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができない。		
評価項目3:古文について、基本古語・古典文法を修得し、現代の文化とのつながりを説明できる。	古文について、基本古語・古典文法を全て修得し、現代の文化とのつながりを適切に説明できる。	古文について、基本古語・古典文法を修得し、現代の文化とのつながりを説明できる。	古文について、基本古語・古典文法を修得できない。現代の文化とのつながりを説明できない。		
評価項目4:常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	常用漢字の音訓を全て正しく使える。主な常用漢字が全て書ける。	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	常用漢字の音訓を正しく使えない。主な常用漢字が書けない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	国語Ⅱでは、国語Ⅰで修得したことをもとに以下の目標を掲げる。 1. 評論などの論理的な文章では、その構成と展開を的確に捉え、筆者の考えをまとめることができる。また、小説などの文学的文章では、物語の展開に即して、登場人物の心情や作者のものの見方を捉え、主題をまとめることができる。 2. 古文については、基本古語・古典文法を修得し、現代の文化につながる古文の世界を、物語や随筆を通じて味わうことができる。 3. 常用漢字の音訓を正しく使い、主な常用漢字が書ける。				
授業の進め方・方法	講義形式を基本とする。原則として、年間4回の漢字小テストを実施する。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 各期の成績評価の内訳は、定期試験80%、漢字小テスト20%とする。 学年総合成績は、前期総合成績と後期総合成績の平均点とする。 授業に対する取り組みの悪い者については減点することがある。 単位追認試験、再試験は適切な時期に実施する。 合理的な配慮を行い、学習範囲を「国語」の範囲にとどめ、それ以上のことがらには踏み込まない。 オフィスアワーは火曜日放課後とする。 				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1週	0. 全体ガイダンス 1. 評論 ミロのヴィーナス(清岡卓行)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。		
	2週	1. 現代文 評論 ミロのヴィーナス(清岡卓行)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。		
	3週	2. 現代文 小説 山月記(中島敦)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。		
	4週	2. 現代文 小説 山月記(中島敦)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。		
	5週	2. 現代文 小説 山月記(中島敦)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。		
	6週	2. 現代文 小説 山月記(中島敦)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。		
	7週	3. 古文 説話 『宇治拾遺物語』留志長者のこと	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。		
	8週	前期中間試験			
	9週	試験返却/4. 現代文 評論 おじいさんのランプ(宇野常寛)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。		
	10週	4. 現代文 評論 おじいさんのランプ(宇野常寛)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。		
	11週	4. 現代文 評論 おじいさんのランプ(宇野常寛)・5. 現代文 評論 人間の運命と科学(長谷川英祐)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。		

後期		12週	5. 現代文 評論 人間の運命と科学 (長谷川英祐)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。	
		13週	5. 現代文 評論 人間の運命と科学 (長谷川英祐)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。	
		14週	6. 古文 物語 『大鏡』道長、伊周の競射	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。	
		15週	7. 古文 物語 『大鏡』三船の才	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。	
		16週	前期末試験		
	3rdQ	1週	8. 現代文 小説 ころこ (夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。	
		2週	8. 現代文 小説 ころこ (夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。	
		3週	8. 現代文 小説 ころこ (夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。	
		4週	8. 現代文 小説 ころこ (夏目漱石)	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を、表現に即して読み味わうことができる。	
		5週	9. 古文 物語 『伊勢物語』初冠	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。	
		6週	10. 古文 物語 『伊勢物語』すける物思ひ	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。	
		7週	11. 古文 物語 『伊勢物語』渚の院	古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。	
		8週	後期中間試験		
		4thQ	9週	試験返却と解説 12. 現代文 評論 環境問題と孤立した個人 (河野哲也)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。
			10週	12. 現代文 評論 環境問題と孤立した個人 (河野哲也)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。
			11週	12. 現代文 評論 環境問題と孤立した個人 (河野哲也)	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確に捉え、その論旨をまとめることができる。
12週	13. 古文 日記 『更級日記』門出		古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。		
13週	14. 古文 日記 『更級日記』物語		古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。		
14週	15. 古文 評論 『源氏物語玉の小櫛』もののあはれの論		古文について、基本古語・古典文法を修得し、文章の内容を理解してまとめることができる。		
15週	16. 古文 評論 『古今和歌集』仮名序		古文について、基本的な古典知識を習得し、文章の内容を理解してまとめることができる。		
16週	後期末試験				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前1,前2,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前16,後8,後9,後10,後11,後16
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前1,前2,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前16,後8,後9,後10,後11,後16
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後12,後13,後14,後15,後16
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後16

			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後16
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	前1,前2,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前16,後8,後9,後10,後11,後16
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	前7,前8,前14,前15,前16,後5,後6,後7,後8,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合				
	試験	提出物	漢字小テスト	合計
総合評価割合	80	0	20	100
評価項目 1	20	0	5	25
評価項目 2	20	0	5	25
評価項目 3	20	0	5	25
評価項目 4	20	0	5	25